

## 令和 2 年度 研究概要報告一覧

堀建治	<u>研究分野・研究テーマ</u> 「楽しさ」に関する研究
	<u>研究成果の概要</u> 「楽しさ」に関する研究については、以下のとおり成果発表した。 日本保育学会第 73 回大会（奈良）にてポスター発表を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防上、認定学会となった（テーマ：「楽しさに関する研究 8 手遊びを中心として」）。

川勝泰介	<u>研究分野・研究テーマ</u> 児童文化財としての昔話絵本の活用について
	<u>研究成果の概要</u> 保育現場で多く用いられている絵本や紙芝居などの児童文化財のなかで、昔話絵本には実にさまざまな種類がみられる。今年度は、これまで収集してきたイギリスの昔話である「三びきの子ぶた」の絵本（57 冊）の比較検討を通して、そこにみられる教訓の変化について考察した。なおその成果については本学図書館のミニ企画展で披露するとともに、その一部を編著書『よくわかる児童文化』（ミネルヴァ書房 2020）でも紹介した。

安藤和彦	<u>研究分野・研究テーマ</u> 保育者養成の研究
	<u>研究成果の概要</u> 出版 『施設実習（第 3 版）共編著 北大路書房（現時点未刊） 『社会福祉史辞典』共著 ミネルヴァ書房（現時点未刊） 行政計画書 京都府長岡京市 第 2 次地域健康福祉（中期）計画 令和 3 年 3 月 京都府木津川市 第 9 次木津川市高齢者福祉計画 令和 3 年 3 月 京都府木津川市 第 8 期木津川市介護保険事業計画 令和 3 年 3 月 京都府木津川市 障害福祉計画 令和 3 年 3 月 京都府木津川市 木津川市障害児福祉計画 令和 3 年 3 月

安藤恭子	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <p>形や色を通して、造形に関わる乳幼児の情操を養い、想像力や表現力を豊かにすることのできる保育者としての能力を培うための教材の開発研究及び授業の在り方</p>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>教材の開発をシラバスに取り入れ授業実践ができた。学生の実態から見て描く表現を多く取り入れ、モデル人形等を取り扱い、学生の表現力が向上した。</p> <p>画材の組み合わせを工夫することで学生の個に応じた指導の充実を図った。</p> <p>コロナ禍でとりわけ、前期の題材では執筆している萌文書林より出版の「幼児造形の基礎」を教科書として採用したため家での課題学習や授業に生かすことができた。</p> <p>学生一人一人が毎回の作品及び資料の数々を一冊のファイルにまとめることにより、学習実態の見える化を図った。その成果があり、個々の作品が向上した。</p> <p>いつでも、学生のアイデアを取り入れた教材の開発ができるように、資料、素材等の収集に努め、教室の環境経営を充実させることができた。本年度の成果を来年度に繋げていきたい。</p>

伊藤康明	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <p>ICTを活用した領域「環境」の教材開発</p>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>科目「生活とかがく」「幼児の環境」の教材・教具の開発、実験や制作実習教材の作成など。いずれも子どもが自然に興味・関心を持つような観点で、家庭でも試すことができる科学実験を中心に工夫した。教員免許状更新講習「かがくあそび」を、同様に教材を工夫、演示実験・制作実習を行った。新しく小学校に導入された「プログラミング学習」に鑑み、教材用ロボットを組み立て、ソフトウェアでロボットに簡単な運動をさせる試みを行った。</p>

田中雅章	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <p>電子教科書におけるヒューマンインターフェイスの研究 学習履歴ビックデータのデータマイニングの研究、ICTを活用した教育方法の研究</p>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>論文（論文誌）</p> <p>1) 「看護養成校で導入されたデジタル教科書活用事例」田中雅章、情報の科学と技術、Vol. 71, No. 1, pp. 23-27, 2021. 1</p> <p>論文（紀要）</p> <p>1) 「保育士養成のための学外コンサート活動の試み⑤」田中雅章他、幼児教育文化研究所紀要、Vol. 5, pp. 39-49, 2021. 1</p> <p>2) 「情報機器の操作と活用におけるカリキュラム」田中雅章、ユマニテク短期大学紀要 Vol. 4, pp. 1-9, 2021. 3</p> <p>3) 「地域ボランティア実践における学生ボランティアの実践報告」田中雅章他、ユマニテク短期大学紀要 Vol. 4, pp. 35-46, 2021. 3</p> <p>4) 「学外コンサート活動の評価と学生の意識の変化」田中雅章他、ユマニテク短期大学紀要 Vol. 4, pp. 47-58, 2021. 3 他</p>

山野栄子	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <p>①保育内容の教材研究や授業検討に関すること</p> <p>②保育者の専門性と質の向上に関すること</p>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>日本保育学会や日本虐待防止学会などいくつかのオンライン研修に参加し、その学びを授業や様々な研修会に活かした。学会では「こどもが器楽合奏を楽しむ足がかりとして」「協働型園内研修におけるファシリテーター育成の取り組み」の2本を共同研究し発表した。また三重県幼児教育センターのアドバイザーとして「三重県保育者育成指標モデル」の作成に携わった。他にも保育士等キャリアアップ研修や幼稚園教諭免許更新講習、子育て支援員認定研修、児童厚生員研修、家庭教育学級講座、ファミリーサポート養成講座などの講師を務めた。</p>

平松喜代江	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <p>研究分野・研究テーマ</p> <p>研究分野：社会学、社会福祉、社会的養護</p> <p>研究テーマ：児童養護施設退所者の大学等進学実現に関する研究</p>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>研究成果の概要</p> <p>1. 学会発表</p> <p>1) 平松喜代江「施設実習の自己課題と学びに関する考察-実習エピソードの振り返りから-」日本保育学会第73回大会、2020年5月</p> <p>2) 共著「児童養護施設における大学等進学支援の対応に関する研究-施設職員への質問紙調査による-」日本社会福祉学会第68回秋季大会、2020年10月</p> <p>2. 論文(学会誌・紀要)</p> <p>1) 共著「保育士育成のための学外コンサート活動の試み⑤」三重幼児教育文化研究 vol.6、2021.1</p> <p>2) 共著「学外コンサート活動の評価と学生の意識の変化」ユマニテク短期大学紀要 Vol.4、2021.2</p> <p>3. その他発表</p> <p>1) 平松喜代江「高等教育における修学支援の現状と課題-大学進学に関する調査結果から-」みえアカデミックセミナー、2020年8月</p> <p>4. 講座</p> <p>1) 教員免許更新講習「学校、家庭及び地域の連携及び協働」2020年7月、12月</p> <p>2) 三重県児童厚生員等研修会「児童館論」講義 2020年9月</p> <p>3) 三重県子育て支援員研修地域保育コース「乳幼児の発達と心理」講義 2020年11月</p> <p>4) 放課後児童支援員等資質向上研修「運営主体の責務と放課後児童健全育成推進事業の役割、いじめや虐待への対応、家庭における養育状況の理解」講義 2020年10月、11月</p> <p>5) 子育て支援員研修「地域保育コース」「乳幼児の発達と心理」講義 2020年10月</p> <p>6) 放課後児童支援員研修「保護者との連携・協力と相談支援」講義 2020年11月2回</p> <p>7) ユマニテク短期大学入学前講座グループワーク(人間関係) 2021年1月</p>

松本亜香里	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <p>①子どもの心身発達にかかわる保育教材および指導法研究</p> <p>②ピアノ演奏技術および表現研究</p>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>指導法の土台として、学生自身がそれぞれに具体的な保育者像を描き、こどもとどのようにかかわっていききたいか、どのような保育を理想とするか、自身に問いかけ学び続けるという意識付けを目標とした。目標達成に向け、教員間で授業や学生の様子を共有し、授業改善に努め、紀要にまとめた。</p> <p>今年度は、「こどもの姿の捉え方」と「保育表現指導法」「保育教材研究」について、学会発表2本と学術論文2本（ユマニテク短期大学紀要1本、東海学園大学教育研究紀要1本）を研究成果として残した。また、演奏技術および表現研究について、演奏活動を2回、講演を1回実施した。</p>

桂山たかみ	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽指導能力を培うための教材開発や授業研究</li> <li>・演奏技術研究と演奏活動</li> </ul>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>保育者養成校の音楽教員の立場から、音符ではなく絵の器楽合奏譜の創作を行った。「こどもが器楽合奏を楽しむ足がかりとして」として、様々な打楽器の作曲をするなどの研究を進め、音楽に苦手意識を持つ保育者志望の学生や保育者に向けた楽譜を考案し、器楽合奏を楽しむ足掛かりを論じた。</p> <p>また、専門ゼミナール地域連携プログラムでの実践活動を通して、地域の対象者別に適した30分コンサート活動を参加学生が企画し、プログラムを考えて実践した。参加した保育士と学生にアンケートを取り、この試みの成果と今後の課題を分析した。今年度は、学術論文3本、学会発表1本、その他（演奏・高大連携授業など）6本実施した。</p>

田村禎章	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の主体形成の効果的支援とその方法に関する研究</li> <li>・新総合事業の展開と「地域共生社会」の推進に関する研究</li> <li>・福祉教育及び福祉科教育方法における評価方法の在り方に関する研究</li> <li>・地域におけるボランティアコーディネーター支援に関する研究</li> <li>・地域レクリエーション協会の実践・運営支援に関する実践的研究</li> <li>・レクリエーション指導及びコーディネーター方法に関する研究</li> </ul>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <p>令和2年度は、ユマニテク短期大学の専任教員4年目として、上記研究課題の集約と理論化・客観化を深化する年だった。以下に記載のとおり、講演・研修会の講師実績や、社会的活動は多岐にわたって実施した。論文・著書・報告書等については業績を複数残せた。</p>

伊藤喬治	<p><b>研究分野・研究テーマ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北ヨーロッパ地域の就学前施設における保育実践と専門職性に関する研究</li> <li>・保育実習指導における言葉がけの研究</li> </ul>
	<p><b>研究成果の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学会発表)伊藤喬治(2020)『ノルウェーにおける保育者養成制度に関する一考察』「日本保育学会 第73回大会」奈良教育大学。本研究では、ノルウェーにおける保育者養成について、現地の保育者養成において用いられているテキストを用いながら、思想的変遷とその特徴の観点から検討を行った。</li> <li>・(論文)松本亜香里、伊藤喬治『保育者志望の学生のこどもを対象とした言葉がけに関する一考察(1)―保育実習指導Ⅱの授業実践から―』「ユマニテク短期大学紀要」ユマニテク短期大学、第4号。保育実習指導の授業内で過去2年に渡り行っている言葉がけの実践を検討することによって、学生の保育の視点の傾向について明らかにし、また実習指導における課題について検討を行った。</li> </ul>

令和 3 年 3 月 12 日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 堀 建治

報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	①「楽しさ」に関する研究 ②幼保小の効果的な接続に関する研究 ③ドイツと日本における保育者の資質の相違に関する研究
------	---

#### 研究成果の概要

- ①の「楽しさ」に関する研究については、以下のとおり成果発表した。
- 日本保育学会第 73 回大会（奈良）にてポスター発表を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染予防上、認定学会となった（テーマ：「楽しさに関する研究 8 手遊びを中心として」）。
- ②については、新型コロナウイルス感染防止の観点から実施できなかった。
- ③については、欧州での視察を予定していたが、新型コロナウイルス拡大による渡航制限により、実施することができなかった。
- ④その他の成果としての、三重県北勢地区の子育て家庭に配布される「きらきら」において、育児コラム担当、三重県放課後児童支援員認定研修講師、三重県子育て支援員研修講師、保育キャリアアップ研修講師を担当。

令和3年 3月2日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2年度 研究概要報告書

報告者 川勝 泰介  
報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	児童文化財としての昔話絵本の活用について
------	----------------------

#### 研究成果の概要

保育現場で多く用いられている絵本や紙芝居などの児童文化財のなかで、昔話絵本には多様な種類がある。その中で、今年度は、イギリスの昔話である「三びきのこぶた」の絵本についての比較検討を継続して行い、その成果を本学で開催された教員免許更新講習で披露したほか、これまで収集した絵本を、本学図書館にてミニ企画展として展示した。

またこれまで単独で企画編集をしてきた『よくわかる 児童文化』（ミネルヴァ書房）が、2020年11月によりやく刊行され、その中で「序 児童文化研究」「1 児童文化の本質」をはじめとして全107項目中22項目を担当執筆した。

さらに同志社大学社会学部メディア学科竹内オサム研究室発行『ピランジ』46号においては「子どもと万年筆とのあいだ」、同47号においては『よくわかる児童文化』の刊行を投稿し、それぞれ掲載された。

その他、例年行っている北勢エリアの子育てファミリー応援フリーマガジン『きらきら』における絵本紹介も3度担当した他、日本子ども社会学会紀要『子ども社会研究』27号に書評を執筆した。

令和 3 年 4 月 2 日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 安藤 和彦  
報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	保育者養成の研究
------	----------

#### 研究成果の概要

出版 『施設実習（第3版）共編著 北大路書房（現時点未刊） 『社会福祉史辞典』共著 ミネルヴァ書房（現時点未刊） 行政計画書 京都府長岡京市 第2次地域健康福祉（中期）計画 令和3年3月 京都府木津川市 第9次木津川市高齢者福祉計画 令和3年3月 京都府木津川市 第8期木津川市介護保険事業計画 令和3年3月 京都府木津川市 障害福祉計画 令和3年3月 京都府木津川市 木津川市障害児福祉計画 令和3年3月
---

令和 3 年 3 月 10 日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 安藤恭子  
報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	形や色を通して、造形に関わる乳幼児の情操を養い、想像力や表現力を豊かにすることができる保育者としての能力を培うための教材の開発研究及び授業の在り方
------	---

#### 研究成果の概要

教材の開発をシラバスに取り入れ授業実践ができた。学生の実態から見て描く表現を多く取り入れ、モデル人形等を取り扱い、学生の表現力が向上した。

画材の組み合わせを工夫することで学生の個に応じた指導の充実を図った。

コロナ禍でとりわけ、前期の題材では執筆している萌文書林より出版の「幼児造形の基礎」を教科書として採用したため家での課題学習や授業に生かすことができた。

学生一人一人が毎回の作品及び資料の数々を一冊のファイルにまとめることにより、学習実態の見える化を図った。その成果があり、個々の作品が向上した。

いつでも、学生のアイデアを取り入れた教材の開発ができるように、資料、素材等の収集に努め、教室の環境経営を充実させることができた。

本年度の成果を来年度に繋げていきたい。

令和3年4月27日

・ユマニテク短期大学

令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 伊藤康明  
報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	ICT を活用した領域「環境」の教材開発
------	----------------------

研究成果の概要

- 授業科目「生活とかがく」「幼児の環境」の教材・教具の開発、実験や制作実習教材の作成など。いずれも学生が自然に興味・関心を持つような観点で、家庭でも試することができる科学実験を中心に工夫した。(浮沈子作り、ぶんぶんごま作り、自然観察、花の栽培、シャボン玉の研究、紙飛行機や風車作りなど)
- 教員免許状更新講習「かがくあそび」 I 期、II 期  
講習内容について、子どもが自然環境に興味・関心を持つような教材を工夫、演示実験・制作実習を行った。(空気や水のふしぎ、音のふしぎ、電気のふしぎなどを中心に)
- 研究のまとめ 「簡易ロボットによるプログラミング学習」  
小学校に導入された「プログラミング学習」に鑑み、市販の教材用ロボットを組み立て、付属のソフトウェアを使って、ロボットに簡単な運動をさせる試みを行った。求められている力とされる「プログラミング的思考」を育むために、幼児教育でのロボットの扱いの可能性について調べた。

令和 3 年 3 月 3 日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 田中 雅章  
報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電子教科書におけるヒューマンインターフェイスの研究</li><li>● 学習履歴ビッグデータのデータマイニングの研究</li><li>● ICTを活用した教育方法の研究</li></ul>
------	--

#### 研究成果の概要

##### 論文（論文誌）

- 1) 「看護養成校で導入されたデジタル教科書活用事例」田中雅章、情報の科学と技術、Vol. 71, No. 1, pp. 23-27, 2021. 1

##### 論文（紀要）

- 1) 「保育士養成のための学外コンサート活動の試み⑤」田中雅章他、幼児教育文化研究所紀要、Vol. 5, pp. 39-49, 2021. 1
- 2) 「情報機器の操作と活用におけるカリキュラム」田中雅章、ユマニテク短期大学紀要 Vol. 4, pp. 1-9, 2021. 3
- 3) 「地域ボランティア実践における学生ボランティアの実践報告」田中雅章他、ユマニテク短期大学紀要 Vol. 4, pp. 35-46, 2021. 3
- 4) 「学外コンサート活動の評価と学生の意識の変化」田中雅章他、ユマニテク短期大学紀要 Vol. 4, pp. 47-58, 2021. 3

##### 国内学会発表

- 1) INFOPRO2021Plus 第17回情報プロフェッショナルシンポジウム、「国試受験者のデジタル教科書ログによる学習分析」、情報科学技術協会、オンライン発表、pp. 71-76, 2021. 7
- 2) 2020PCカンファレンス、「デジタル教科書ワークセッションの運営報告」、CIEC コンピュータ利用教育学会、オンライン発表、pp. 79-80, 2020. 8
- 3) 2020PCカンファレンス、「デジタル教科書利用ログによる学習分析」、CIEC コンピュータ

利用教育学会、オンライン発表、pp. 81-82, 2020. 8

- 4) 第 67 回日本栄養改善学会学術総会、「デジタル教科書の学習ログによる国試受験者の学習分析」、日本栄養改善学会、誌上発表、p. 170, 2020. 9
- 5) 第 45 回 教育システム情報学会、全国大会、「看護師養成校におけるデジタル教科書の導入」教育システム情報学会、オンライン発表、p. 249-250, 2020. 9
- 6) 第 8 回 国際 ICT 利用研究学会 研究会「コロナ禍における入学前教育の取り組み」国際 ICT 利用研究学会、オンライン発表、p. 1, 2020. 10
- 7) 第 5 回 国際 ICT 利用研究学会 全国大会「学生の意識の違いによるアクティブラーニングの効果」国際 ICT 利用研究学会、オンライン発表、p. 190-191, 2020. 12
- 8) 第 9 回 国際 ICT 利用研究学会 研究会「保育士養成における相互評価法を活用した工作実践」国際 ICT 利用研究学会、オンライン発表、p. 1, 2021. 3(発表審査済)

#### 学会・大会運営

- 1) 国際 ICT 利用研究学会 理事 (2017. 3～現在)
- 2) セッション運営 イブニングセッション (2時間)、「学習行動から明らかになるデジタル教科書体験」、2020PC カンファレンス、オンライン開催、2020. 9

#### 論文査読

- 1) パーソナルコンピュータ利用技術学会、学会論文誌、3 本
- 2) 国際 ICT 利用研究学会 学会論文誌、1 本

令和3年 4月 27日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2年度 研究概要報告書

報告者 山野 栄子  
報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	①保育内容の教材研究や授業検討に関すること ②保育者の専門性と質の向上に関すること
------	--

#### 研究成果の概要

- ①今年度はコロナ禍でオンライン開催であったが、保育内容の教材について日本保育学会や中部地区研究集会、日本虐待防止学会など様々な研修会に参加して研鑽を積んだ。その成果を学校の授業や現場の先生方の研修会、広く地域の家庭教育学級講座、ファミリーサポート養成講座などに活かすことができた。また、授業検討として日本保育保健協議会や東海保育保健研究会等での情報や学んだことを「乳児保育」や「子どもの健康と安全」に関する授業のなかに取り入れ、活かすことができた。
- ②「保育者の専門性と質を高めるための研修のあり方」について、日本保育学会で発表したり、九州・沖縄地区第5回研究集会で意見交換したりして研鑽を積んだ。また、三重県の幼児教育センターが立ち上がり、アドバイザーとして市町への周知をオンラインで行ったり、「三重県保育者育成指標モデル」の作成に携わったりした。また津市の保育士キャリアアップ研修「乳児保育」の講師などをおこなったりして、現場の教育・保育の資質向上に研究成果や学びを活かし、地域貢献にも役立てた。
- ③その他、幼稚園教諭免許更新講習や子育て支援員認定研修の講師、児童厚生員等研修会の講師を行なうことで、更なる研鑽を積む機会になった。

令和 3年 4 月 27 日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2年度 研究概要報告書

報告者 平松 喜代江  
報告者職名 教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	児童養護施設退所者の大学等進学実現に関する研究
------	-------------------------

#### 研究成果の概要

1. 学会発表
  - 1) 平松喜代江「施設実習の自己課題と学びに関する考察-実習エピソードの振り返りから-」日本保育学会第73回大会、2020年5月
  - 2) 共著「児童養護施設における大学等進学支援の対応に関する研究-施設職員への質問紙調査による-」日本社会福祉学会第68回秋季大会、2020年10月
2. 論文（学会誌・紀要）
  - 1) 共著「保育士育成のための学外コンサート活動の試み⑤」三重幼児教育文化研究 vol. 6、2021. 1
  - 2) 共著「学外コンサート活動の評価と学生の意識の変化」ユマニテク短期大学紀要 Vol. 4、2021. 2
3. その他発表
  - 1) 平松喜代江「高等教育における修学支援の現状と課題-大学進学に関する調査結果から-」みえアカデミックセミナー、2020年8月
4. 講座
  - 1) 教員免許更新講習「学校、家庭及び地域の連携及び協働」2020年7月、12月
  - 2) 三重県児童厚生員等研修会「児童館論」講義2020年9月
  - 3) 三重県子育て支援員研修地域保育コース「乳幼児の発達と心理」講義2020年11月
  - 4) 放課後児童支援員等資質向上研修「運営主体の責務と放課後児童健全育成推進事業の役割、いじめや虐待への対応、家庭における養育状況の理解」講義2020年10月、11月
  - 5) 子育て支援員研修「地域保育コース」「乳幼児の発達と心理」講義2020年10月
  - 6) 放課後児童支援員研修「保護者との連携・協力と相談支援」講義2020年11月2回
  - 7) ユマニテク短期大学入学前講座グループワーク（人間関係）2021年1月

令和 3年 3月 18日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2年度 研究概要報告書

報告者 松本 亜香里  
報告者職名 准教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	① 子どもの心身発達にかかわる保育教材および指導法研究 ② ピアノ演奏技術および表現研究
------	---

#### 研究成果の概要

以下の視点を軸に教材研究および指導法研究を深めた。

- ・こどもの表出や表現をどのように受け止め、そのこどもの姿をどのように捉えるか
- ・どのようにして保育のしかけを作ること（環境設定）で保育がつながるのか、学生自身が考えられるような授業設定を検討

1年次の学生は、高校までの教科教育の流れから、保育者養成での学びも科目単位で区切る傾向がみられる。そこで、1年次前期に開講されている「表現指導法」の授業の試みから、基礎ゼミナールや実習指導まで、科目間の連携により理論と実践の学びをつなげる設定を工夫した。指導法の土台として、学生自身がそれぞれに具体的な保育者像を描き、こどもとどのようにかかわっていきたいか、どのような保育を理想とするか、自身に問いかけ学び続けるという意識付けを目標とした。目標達成に向け、教員間で授業や学生の様子を共有し、授業改善に努め、紀要にまとめた。

今年度は、先にも述べた「こどもの姿の捉え方」と「保育表現指導法」「保育教材研究」について、学会発表2本と学術論文2本（ユマニテク短期大学紀要1本、東海学園大学教育研究紀要1本）を研究成果として残した。また、演奏技術および表現研究について、演奏活動を2回、講演を1回実施した。

令和 3 年 4 月 27 日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 桂山 たかみ  
報告者職名 准教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	保育養成課程の学生に対して、音楽指導能力を培うための教材開発や授業研究
------	-------------------------------------

#### 研究成果の概要

保育者養成校の音楽教員の立場から、音符ではなく絵の器楽合奏譜の創作を行った。「こどもが器楽合奏を楽しむ足がかりとして」として、様々な打楽器の作曲をするなどの研究を進め、音楽に苦手意識を持つ保育者志望の学生や保育者に向けた楽譜を考案し、器楽合奏を楽しむ足掛かりを論じた。

また、専門ゼミナール地域連携プログラムでの実践活動を通して、地域の対象者別に適した 30 分コンサート活動を参加学生が企画し、プログラムを考えて実践した。参加した保育士と学生にアンケートを取り、この試みの成果と今後の課題を分析した。

今年度は、学術論文 3 本、学会発表 1 本、その他（演奏・高大連携授業など）6 本実施した。

令和3年4月26日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 田村 禎章

報告者職名 准教授

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域福祉の主体形成の効果的支援とその方法に関する研究</li><li>・新総合事業の展開と「地域共生社会」の推進に関する研究</li><li>・福祉教育及び福祉科教育方法における評価方法の在り方に関する研究</li><li>・地域におけるボランティアコーディネート支援に関する研究</li><li>・地域レクリエーション協会の実践・運営支援に関する実践的研究</li><li>・レクリエーション指導及びコーディネート方法に関する研究</li></ul>
------	---

#### 研究成果の概要

令和2年度は、ユマニテク短期大学の専任教員4年目として、上記研究課題の集約と理論化・客観化を深化する年だった。以下に記載のとおり、講演・研修会の講師実績や、社会的活動は多岐にわたっているが、論文等が顕著に少ない状況となっている。次年度はさらに、活字業績を推進できるよう計画を立てていきたい。

#### 【論文・著書・報告書・学会発表等】

- 1) (論文)「地域ボランティア実践における学生ボランティアの研究」、『ユマニテク短期大学紀要』第5号、2021年3月発行、11頁、共著。
- 2) (著作物)『映像で学ぶ訪問美容・介護美容の現場と実践』(A4版カラー、全100頁、映像授業14本収録)、学校法人穴吹学園 2021年2月発行、専門学校穴吹ビューティカレッジ発行、共著。
- 3) (報告書)『令和2年度文部科学省委託「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」地域を支える訪問美容・介護美容中核人材育成事業事業成果報告書』、学校法人穴吹ビューティカレッジ、2021年2月発行、全148頁、分担執筆。
- 4) (映像授業制作)『三重県外国人介護人材の介護事業所向けガイド2020年版、映像版』、三重県介護福祉士養成施設協議会、2021年3月発行、全4篇、映像授業の企画編集協力。
- 5) (コラム執筆)「遊び紹介：「カプラ」で遊ぼう!」『子育てファミリー応援フリーマガジン「きらきら」』令和2年9-10月号発行、1頁、単著。
- 6) (報告書)文部科学省委託事業『介護・保育分野における異文化間・異世代間の交流促進のための分野

横断型リカレント教育プログラムの開発 成果報告書』、学校法人敬心学園、分担執筆、令和3年2月発行、第1巻80頁、第2巻92頁。

- 7) (ワークブック) 文部科学省委託『専修学校による地域産業中核的人材養成事業～地域活動による高齢者支援・介護支援の学習プログラムの研究開発事業～ 地域課題学習プログラム学生用・教員用ワークブック』、学校法人敬心学園、執筆協力、令和3年3月発行、学生用25頁、教員用15頁。
- 8) (報告書) 文部科学省委託事業『専修学校による地域産業中核人材養成事業～地域活動による高齢者支援・介護支援の学習プログラムの研究開発事業 成果報告書』、学校法人敬心学園発行、分担執筆、令和3月発行、83頁。
- 9) (報告書) 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会『現場における介護従事者の多様化と介護福祉士養成教育に関する調査研究 報告書』、令和2年3月発行、分担執筆・調査協力、81頁。
- 10) (ガイドライン) NPO 法人岐阜県レクリエーション協会『レクリエーション活動再開に向けた新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』、令和2年5月発行、分担執筆、15頁。
- 11) (計画書) 社会福祉法人玉城町社会福祉協議会『第3期玉城町地域ふくし力向上計画』、令和2年4月発行、監修、4頁。
- 12) (ガイドブック) 三重県介護福祉士養成施設協議会『留学生のための介護福祉士養成校入学ハンドブック』令和2年8月発行、執筆協力、33頁。
- 13) (DVD 制作) 三重県介護福祉士養成施設協議会『外国人留学生のみなさんへ、介護福祉士の仕事の紹介』令和3年1月発行、監修、全4篇。
- 14) (教材作成) 三重県介護福祉士養成施設協議会「みじかなひとへのおもいやり」(小中学校福祉教育教材)、令和3年2月発行、ハンドブック4頁、DVD制作全3篇。
- 15) (執筆協力) 株式会社みらい『福祉保育小六法2021年度版』令和3年3月発行、850頁、執筆協力。

#### 【講演・研修・指導業績等】

- 1) 三重県教育委員会、教員免許更新講習会「身体表現」担当、令和2年7月、12月
- 2) NPO 法人岐阜県レクリエーション協会「市町村レクリエーション協会活性化研修会」講師、令和2年7月
- 3) NPO 法人大垣市レクリエーション協会「スポーツ・レクリエーション概論」講師、令和2年9月
- 4) 池田町レクリエーション協会「スポーツ・レクリエーションの実践講義」講師、令和2年9月
- 5) 三重県児童館連絡協議会「健全育成論」講師、令和2年10月
- 6) (公財) 介護労働センター三重支所「介護福祉士国家試験対策」講師、令和2年10月、11月
- 7) 愛知県児童館連絡協議会「個別援助活動」講師、令和2年10月
- 8) 愛知県児童館連絡協議会「資質向上ためのスキルアップ研修」講師、令和2年10月
- 9) (社福) 川越町社会福祉協議会「福祉協力員フォローアップ研修」講師、令和2年10月
- 10) 三重県放課後児童支援員研修「遊び支援、発達支援」講師、令和2年10月、11月
- 11) 富山ビューティーカレッジ「訪問美容実践演習～介護実技～」講師、令和2年11月
- 12) 赤堀児童集会所「キッズスクール/遊び支援」講師、令和2年11月
- 13) 川越町亀崎地区「コロナ禍における健康指導」講師、令和2年11月

- 14) (社福)川越町社会福祉協議会「福祉協力委員養成講座」講師、令和2年12月
- 15) 三重県児童館連絡協議会「地域援助活動」講師、令和2年12月
- 16) 四日市市富田中学校「キャリア教育のための講演会」講師、令和2年12月
- 17) 関市レクリエーション協会「コロナ禍でのウォーキング大会～岐阜県百年公園～」講師、令和2年12月

【社会的活動業績（現職のみ）】

- 1) 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 総務政策委員（協会の財務、運営方針審議委員）
- 2) 三重県川越町社会福祉協議会 地域福祉教育推進アドバイザー（地域福祉活動計画策定支援）
- 3) 三重県玉城町社会福祉協議会 顧問・地域福祉共有アドバイザー（地域福祉活動計画策定支援）
- 4) 岐阜の地域福祉実践・研究ネットワーク 運営委員（福祉教育部会研究代表）
- 5) 特定非営利活動法人岐阜県レクリエーション協会 専務理事（レク・インストラクター養成指導、福祉レク実践指導）
- 6) 関市レクリエーション協会副会長、瑞穂市レクリエーション協会副会長、美濃市レクリエーション協会理事長、岐阜県パターゴルフ協会理事長、羽島市レクリエーション協会理事、岐阜県キンボール・スポーツ連盟理事、岐阜県福祉レクリエーション協会監事（地域レクリエーション運動の推進、生涯スポーツ・レクリエーションの普及、福祉レクリエーションの指導）
- 7) 公益財団法人岐阜県体育協会「岐阜県民スポーツ大会」大会副委員長（岐阜県民スポーツ大会の企画、運営支援）
- 8) 岐阜県清流の国推進部地域スポーツ課「第33回全国健康福祉祭（ねんりんピック岐阜）」基本構想策定委員会委員（ねんりんピック岐阜2021の大会企画構想支援）
- 9) NPO法人ヴィアティン三重スポーツクラブ 地域連携係（プロバレーボール競技運営支援、選手就職指導・紹介業務等）
- 10) 教育コンサルティングオフィス・コンプレックスブレイン合同会社 コラボレーター（介護・福祉教育教材開発・研究、教育メソッドの効果測定業務等）
- 11) 文部科学省委託事業：「分野横断型リカレント教育プログラム開発（介護・保育分野における異世代間の交流促進のための分野横断型教育プログラム開発事業）」実証講座企運営会委員（専修学校卒業者に於けるリカレント教育促進プログラムの開発、効果実証研究委員）

令和 3 年 4 月 28 日

## ユマニテク短期大学

### 令和 2 年度 研究概要報告書

報告者 伊藤 喬治

報告者職名 講師

下記の通り研究成果の概要を報告いたします。

研究課題	①保育者養成校における障がい児保育についての授業実践に関する研究 ②北ヨーロッパ地域の就学前施設における保育実践と専門職性に関する研究 ③障がい児保育における保育の専門職性の理論的検討とその獲得について、教材研究をとおして検討を行う。 ④保育実習指導における言葉がけの研究
------	---

#### 研究成果の概要

- ①「障がい児保育」授業内において、関連する他の授業のシラバスも踏まえ、特にこの授業では障がい児保育の初学者への視座の獲得を念頭に置いて、毎時間学生のコメントシートのフィードバックを重点的に行うなど、対話的な内容の大きい授業実践を行った。
- ②(学会発表)伊藤喬治(2020)『ノルウェーにおける保育者養成制度に関する一考察』「日本保育学会 第73回大会」奈良教育大学。本研究では、ノルウェーにおける保育者養成について、現地の保育者養成において用いられているテキストを用いながら、思想的変遷とその特徴の観点から検討を行った。
- ③「専門ゼミナール」内において、今年度から障がい児支援プログラムを担当することになった安藤恭子教授と共に、インクルーシブ保育の観点からの画材研究を専門ゼミナールに取り入れることによって、これまでの理論からの検討だけでなく保育教材研究としての側面からゼミナール活動を行った。また今年度は 3D プリンターを活用し、自助具や幼児向けおもちゃの作成を行った。
- ④(論文)松本亜香里、伊藤喬治『保育者志望の学生のこどもを対象とした言葉がけに関する一考察(1)―保育実習指導Ⅱの授業実践から―』「ユマニテク短期大学紀要」ユマニテク短期大学、第4号。保育実習指導の授業内で過去2年に渡り行っている言葉がけの実践を検討することによって、学生の保育の視点の傾向について明らかにし、また実習指導における課題について検討を行った。
- ⑤3D プリンターを活用し、幼児向けのおもちゃをデザイン・製作し、作品を『きらきら』の執筆に活用した。
- ⑥今年度導入された Glexa を「教育と社会」「保育実習指導Ⅱ」「専門ゼミナール」に教材や指導手段として取り入れることによって、より手厚い学生指導を目指した。
- ⑥教員免許更新講習において、教育の最新事情として、前期後期ともに各2コマ担当した。そこで、国内における最新の知見を取り上げるだけでなく、特に自身の専門分野である北欧の保育分野の研究成果及び障がい児保育の動向を内容に反映させた。
- ⑦放課後児童クラブの支援員研修の講師として発達および地域連携に関するテーマについて各会場にて2コマずつ担当した。手法として手書きのスライドを使用するなど、教授法についても様々な手法を意識して取り入れた。